

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		社会教育指導員設置事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020302000627	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090601	
政策体系	総合計画の施策名	0203 青少年の健全育成				主要事業		生涯学習課		
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト				
	施策名	03 青少年の健全育成				未来PJ事業		生涯学習G		
	手段名	02 ②家庭教育の充実				合併建設計画事業		グループ		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業			
法令根拠	社会教育指導員設置に関する規則					単年度繰返し (年度~)				
	[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

手段	(1) 事務事業の概要		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順		
	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 社会教育指導員は、教育委員会の委嘱する社会教育の特定分野について、直接指導、学習相談または社会教育関係団体の育成等にあたる。 生涯学習課で開設する各種学級の企画運営にあたる。 (高齢者学級・女性学級・家庭教育学級・わくわくチャレンジ・分館祭)		・委嘱書の交付 ・連絡調整 ・報酬、費用弁償の支払い		

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
定数 8名以内(現在6名) 任期 1年(再任はできるが、通算年数は原則として3年を超えることができない) 報酬 月額 80,000円	育成指導が図られた学級数	学級	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民	桜川市人口(常住人口)	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
各種社会教育団体の育成、社会教育事業の推進、家庭教育の推進が図られる	育成指導が図られた各種学級の参加率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	5,776	5,776	5,776
	事業費計(A)	千円	5,776	5,776	5,776	
人件費	正規職員従事人数	人	1.00	1.00	1.00	
	述べ業務時間	時間	13.30	15.00	15.00	
	人件費計(B)	千円	39	44	44	
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,815	5,820	5,820	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	5,760		01 報酬	5,760	
	09 旅費	16		09 旅費	16	
	合計	5,776		合計	5,776	

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	社会教育指導員設置事業	事務事業No.	20302000627	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和50年代頃から社会教育指導員設置が始まった。桜川市でも社会教育の振興のため指導員を設置している。少子高齢化、国際化、情報化が進み、教育を取り巻く環境が急激に変化した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 各種事業の振興のために設置要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 社会教育指導員が市民会等の団体の支援するに伴い、各地区の指導員としての業務で活躍できる
現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興に結び付いている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 社会教育指導員を中心に各種学級の企画運営を行い、学級の対象者に学習の機会を与えられるため妥当である
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 市民に対して学習の機会を提供提供しているので適切である
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興等に影響がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため統廃合は難しい
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各種学級の企画立案をしているため、これ以上の削減の余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興等に取り組んでいるため公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 高齢者学級、家庭教育学級、女性学級、わくわくチャレンジ、分館祭等、社会教育指導員を中心に企画運営し、地域住民に各種学級の機会を提供できた。今後も適切な企画運営できるよう取り組んでいきたい。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下	×	×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	×																			
	維持																						
	低下	×	×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑥ コスト削減優先度評価結果 ⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------